



— 第628号 —  
 新潟市中央区浜浦町1の1  
 浜浦小学校  
 電話 (025) 266-3181  
<http://www.hamaura-city-niigata.ed.jp/>

## 「歴史と伝統」の正体

校長 小林 圭一

先月のこと、浜浦小に赴任するのを新  
 聞で知った、と幼なじみが連絡をくれた。  
 ついてはお祝いをやっているから、お前  
 も来い、と言う。

連中とはつい先日会ったばかりだし、  
 そもそも私がいけないのに「やっている」つ  
 て何だ。それでも、分かった分かったと  
 返事をし、そそくさと出かけていく。連  
 中とよもやま話をするのが、最近は何  
 よりの楽しみになっているのだ。

遅れて駆けつけた私の耳に、幼なじみ  
 の一言が飛び込んできた。

「浜浦小ってさ、『歴史と伝統の学校』な  
 んだぞ。春から、しっかりやれよ」

見渡すと、他の連中もウンウンとうな  
 づいている。「どの口が言ってるんだ」  
 と毒づきつつ、私は内心ちよつとドキド  
 キしていた。学校現場とは縁の無い彼ら  
 が浜浦小の「歴史と伝統」を理解してい  
 ることに驚き、また、私もそう思ってい  
 るのを見透かされた気がしたのだ。

◆ 誰もが感じる浜浦小の「歴史と伝統」  
 とは、いったい何なのだろう。私の思う  
 「歴史と伝統」は、浜浦小のそれぞれの  
 教室、それぞれの授業そのものだ。

初めて浜浦小の授業を見たのはずいぶ  
 ん昔のことだが、記憶に残る光景は、今  
 目の前にある教室、授業の光景ととても  
 よく似ている。子どもたちはそれぞれに  
 個性的なのに、学級集団や授業の全体像  
 といったものには、当時の色合いがその  
 まま継承されている。

◆ 「継承」を成り立たせているのは、教  
 職員ではない。どんなに優れた教職員も、  
 数年経てば異動となるのだから。

継承の最初の鍵は、子どもだ。良い教  
 室・良い授業を経験した子どもは、魅力  
 的な姿を見せるようになる。新たに赴任  
 してきた教職員は、そんな子どもの姿に  
 刺激を受け、それに負けない教室や授業  
 をつくり出す。つまり、教職員が子  
 どもに教えられている。

◆ もう一つの鍵は、家庭や地域だ。小学  
 生が学校で過ごす時間は、子どもが目覚  
 めている総時間の3割程度と言われる。  
 7割に当たる家庭・地域で過ごす時間が、  
 子どもの育ちの多くを担っているのは間  
 違いない。特に、意欲や態度に関しては  
 そうで、良い教室の実現に不可欠な「一  
 歩上に向かおうとする子どもの意欲」も  
 例外でない。つまり、良い教室は、家庭  
 や地域の支え無しには実現しない。

◆ 子どもに教えられ、家庭や地域に支え  
 られた教職員が良い教室をつくる。良い  
 教室で育った子どもはやがて、新たに赴  
 任した教職員を刺激する。こうして生ま  
 れる良質な循環が、さらに、途切れるこ  
 となく継承され、ようやく「歴史と伝統」  
 と呼ばれるようになる。

これは、決して簡単なことではない。  
 それでも、これまで浜浦小にかかわった  
 皆が、良質な循環を継承させた。  
 今度は私たちの番だ。